

## 小児への喫煙防止教育に関する研究

小児看護学領域 今野 美紀 教授



## Q. この研究に取り組んだ背景は何ですか？

A. 厚生労働省（2018年）によると、北海道は女性の健康寿命（2016年）が全国45位で、前回（2013年）の26位より転落しています。この一因として、全国1位で推移している女性の高い喫煙率が指摘されています。成人女性の高い喫煙率は、家庭においては高い母親の喫煙率ともいえ、小児が親を喫煙者のモデルとして日常的に目にする事となります。そして小児が受動喫煙に曝される深刻な問題もあります。やがて小児が成人した際、次世代の喫煙者になりやすく、この健康リスクの高い喫煙行動に小児が携わることを防ぎたいと思ったことがきっかけです。志を同じとする呼吸器内科医師、禁煙外来看護師、養護教諭らとチームを組むことが出来たことも研究活動を進めました。

## Q. この研究の目的、方法について教えてください。

A. 本研究では、児童・生徒を対象に喫煙防止教育を行い、その効果を児童の喫煙に対する認識の変化より明らかにします。喫煙防止教育は、これまでわが国で開発されてきた教授法を基盤に、近年、わが国で流行の兆しをみせている新型タバコの正しい情報や禁煙外来の情報等を加えて教授しています。一方的な情報伝達とならないよう、児童・生徒にも参加してもらう演習を含め、楽しく学べるようにしています。評価方法は、授業後に喫煙を志向しない認識に変化するかを自記式質問紙によって評価しています。評価時期は、授業前と直後のみならず、授業3か月後も行い、授業効果が続いているのかも合わせて評価しています。



## Q. これまでの主な研究成果と将来の展望を教えてください。

A. 児童・生徒の喫煙に対する認識は、授業直後は喫煙を志向しない方に変化しました。しかし、3か月後にはその認識は授業前の状態ようになり、教育効果の持続には継続的なアプローチが重要と考えられました。児童・生徒と同居する親にも子ども達の授業効果の持続に協力してもらえよう、現在、親子双方に働きかける方法を検討中です。



## もう少し知りたい!と思った方はこちらへ

- 看護学科小児看護学 URL

➡ [https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/ns/ns\\_syouni.html](https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/ns/ns_syouni.html)

- 大学院保健医療学研究科看護学専攻小児健康看護学分野 URL

➡ [https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/g-ns/g-ns\\_syouni-kenkou.html](https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/g-ns/g-ns_syouni-kenkou.html)